Q-AOS

ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.076

オンライン 録画期間限定公開 (Zoom) 登録はこちら

2022 12.7 (水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_svVlbbhYTaiLBIXVotmRA

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

生体リズムと時間治療

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

大戸 茂弘 教授

九州大学大学院薬学研究院

略歴

1988年3月 愛媛大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）
1989年8月 南カリフォルニア大学薬学部研究員（Dr. Vincent H. Lee）
1990年8月 愛媛大学薬学部助手
1993年4月 九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野助手
2001年4月 九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野助教授
2005年4月 九州大学大学院薬学研究院薬剤学分野教授
2014年4月 九州大学大学院薬学研究院薬剤学研究院長・学府長・学部長
2018年4月 九州大学理事
2020年4月 九州大学大学院薬学研究院長・学府長・学部長
2021年11月 九州大学 副学長

受賞歴

1991年10月 動脈硬化研究奨励賞（日本動脈硬化学会）
2002年3月 日本薬剤学会学術賞（薬剤学・薬物動態学部門）
2020年3月 日本薬剤学会賞
2022年4月 文部科学大臣表彰（科学技術賞 研究部門）

生体には体内時計が存在し、時計遺伝子により制御されている。これにより生体機能や疾患症状に 24 時間周期の日周リズムが認められる。生体リズムの変容が、癌、循環器疾患、メタボリックシンドロームなど多くの疾患のリスクに関与している。体内時計が薬の体内で効き方（効果、副作用）や動き方（動態：吸収、分布、代謝、排泄）を制御し、受容体、酵素、トランスポーターにも日周リズムが認められ、薬の働き方や動き方は時刻により大きく変動する。一方、薬が体内時計に働きかけて、日周リズムを操作することもできる。このように、生体リズムを活用することで、リズムの診断、障害回避、操作することができ、医薬品の開発や適正使用につながる。

Key Words

概日リズム
時計遺伝子
時間治療

Q-AOS

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-092-802-2603

Q-AOS

ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.077

オンライン 録画期間限定公開 (Zoom) 登録はこちら

2022 12.14 (水) 12:10 ~ 12:50

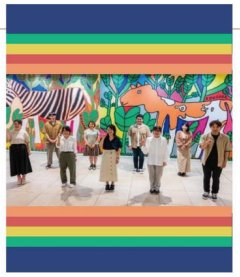
12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_jdnI2VXUSF6o0ISwuFdPg

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

東日本大震災における災害弱者の心理社会的影響：障害の社会モデルとインクルーシブ社会

司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)



田中 真理 教授

基幹教育院 自然科学実験系部門

九州大学基幹教育准教授。
博士（教育心理学）。
東北大学大学院教育学研究科准教授・教授を経て、2014年から現職。
研究テーマは災害時の心理臨床。
著書に『東日本大震災と特別支援教育』（慶応義塾大学出版会、2016年）、『自閉症児者とともに大学で学ぶ』（東北大学出版会、2022年）等、その他共著書、論文多数。
東北で東日本大震災を体験し、多くの障害のある子供や子どもたちを亡くしてしまったことへの罪悪感、現在の仕事へのこころ原点のひとつです。
臨床心理士・公認心理師として、臨床（病院、小児科）、教育（スクールカウンセラー）、矯正（少年院・少年鑑別所）、産業（民間パブリック産業カウンセラー）、福祉（障害者相談センター）の各現場を経験させてきました。
九州大学では、キャンパスライフ健康支援センター・インクルージョン支援推進室長として、インクルーシブキャンパスの構築に向けて活動しています。

「障害者の死亡率はどうしてこんなに高いんでしょうね」。東日本大震災で障害のある子どもを亡くしたご家族の言葉です。障害者の死亡率は、障害のないひとの死亡率の 2 倍から 4 倍でした。この死亡率の高さは、自然災害によるものだけではなく、人災によるものだと考えられます。つまり、障害者がより多くの危険にさらされて犠牲になってしまうことを防ぐことができなかった社会のありかたを突き付けられた重い言葉でした。障害者権利条約では、「障害は、機能障害を有する者とこれらの者に対する態度及び環境による障壁との間の相互作用である」と謳っています。これが、障害の社会モデルです。東日本大震災において、障害のあるひとがどのような脆弱性にさらされてきたのか、それはどのような社会環境による障壁から生じているのかを考え、インクルーシブ社会について考える機会としたいと思います。

Key Words

災害
障害
インクルーシブ社会

Q-AOS

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-092-802-2603

Q-AOS

ブラウンバッグセミナー

Brown Bag Seminar No.078

オンライン 録画期間限定公開 (Zoom) 登録はこちら

2022 12.21 (水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_7X4_k-xMTJmtTXnoc_iFqQ

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

超清潔社会で急増する慢性炎症生疾患を標的とする免疫制御技術

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

片山 佳樹 教授

九州大学大学院工学研究院 応用化学部門 機能組織化学

略歴

1988年3月 愛媛大学大学院医学研究科博士課程修了（医学博士）
1989年8月 南カリフォルニア大学薬学部研究員（Dr. Vincent H. Lee）
1990年8月 愛媛大学薬学部助手
1993年4月 九州大学大学院薬学研究院薬物動態学講座助手
2001年4月 九州大学大学院薬学研究院薬物動態学分野助教授
2005年4月 九州大学大学院薬学研究院薬剤学分野教授
2014年4月 九州大学大学院薬学研究院長・学府長・学部長（2期2年）
2018年4月 九州大学理事
2020年4月 九州大学大学院薬学研究院長・学府長・学部長（2期2年）
2021年11月 九州大学 副学長

受賞歴

1991年10月 動脈硬化研究奨励賞（日本動脈硬化学会）
2002年3月 日本薬剤学会学術賞（薬剤学・薬物動態学部門）
2020年3月 日本薬剤学会賞
2022年4月 文部科学大臣表彰（科学技術賞 研究部門）

近年、自己免疫生疾患やアレルギー、さらにはがん、糖尿病や認知症といった様々な疾患が急増している。これらの疾患が増えている原因は、免疫系の乱れを引き起こす現在社会のライフスタイルにある。一方、これらの疾患は、長期の慢性炎症の結果発症するもので、現代医学では根治が難しい難病である。すなわち、発症してからでは治療は非常に困難であり、発症前に免疫系の状態を慢性炎症から寛容型にシフトさせることが重要である。そこで、我々は安全な物質のみを用いて、人工的に免疫寛容を誘導できる制御剤を開発している。ここではなぜ今これらの疾患が増えるのかと、その対処法としての我々が開発した免疫制御粒子について紹介する。

Q-AOS

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-Ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-092-802-2603